



整理収納アドバイザー 佐藤 江理子の

快適!くらしの 整理収納術

アイテム編

Profile

1974年酒田市出身。酒田市内の住宅会社勤務を経て2008年に独立。現在酒田市ゆたかの株式会社佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生として「住まい方アドバイザー」の勉強中。



vol.34

書類ケース収納

フライパンや鍋、料理本も
しっかり立てて省スペース化

書類ケースは、キッチンでも幅広い用途で役立つ上、耐久性が高く、使いまわしも効く万能アイテム。ひと工夫加えた便利な書類整理法も合わせて紹介。



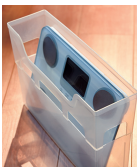
書類ケースの中に、フライパンや鍋、蓋などを立てたり、料理本をひとまとめにしたりと明確にジャンル分け。重量があってもかさばるモノでも、しっかりと立てて収納できるのが魅力。前回の紙袋同様、ダブルクリップで長辺を連結させれば安定性がさらにアップ。濡れにも強く丈夫なので、水周りでも長期間使える。



紙類の系統別整理にも大活躍

リビングにたまりがちな紙の配布物の整理にも大活躍。系統別に細分化して管理するには、まず耐久性の高い「見出し付きフォルダー」で大きくジャンル分け。その中に関連する小ジャンルのクリアファイルや冊子などを挟むのがオススメ。ケースは縦でも横でも場所に合わせて使える。

洗面所では体重計の収納にも使える。そのまま立てかけると不安定なモノをしまったり、詰め替え用の洗剤類などをまとめたりするのにも最適。



モノの処分は気持ちの整理から 鶴岡市での収納セミナーが好評

佐藤江理子さんは2月28日、鶴岡市中央公民館女性センターで「豊かに暮らす整理収納術～春に向けておうちすっきり～」を初開催した。同市内に住む幅広い年代の主婦ら約30人が参加し、熱心に耳を傾けた。

佐藤さんは暮らしやすい整理収納に重点に置き、2時間講演。前半は「後悔しないモノの処分の仕方」など、不要になったモノに対する気持ちの整理の付け方から整理収納について説いた。後半は質疑応答コーナーを設け、参加者の自宅の収納の悩みを聞き、佐藤さんオススメの収納グッズを紹介した。



2019年5月号へ続く!